

# 総務文教委員会記録

令和2年3月18日（水）  
16時42分～17時05分  
（議会運営委員会終了後）  
第1委員会室

【委員】西村委員長、芦谷副委員長  
三浦委員、西川委員、上野委員、永見委員、西田委員、牛尾委員

【委員外】

【議長団】

【事務局】下間書記

---

【議題】

1. 総務文教委員会で取り組む課題について

2. その他

## 【議事の経過】

[ 16 時 42 分 開議 ]

西村委員長

ただいまから、総務文教委員会を開会する。出席委員は7名で定足数に達している。

### 1. 総務文教委員会で取り組む課題について

西村委員長

まず、先ほど、視察等の対応について、各委員会の委員長が集まって、議長提案で話がありました。執行部の職員の対応としては、3月末まではとりあえず出張等を自粛するというので、議会としては5月末まで行政視察に行くのも、受け入れるのも取りやめということで、今後は流動的ではあるけれど、議会の対応としてはそういうことになった。コロナの状況を受けて行かない。視察の受入れも断るというスタンスになった。ということで、この委員会としても日程を決めていたが、一旦取りやめということにする。5月18日から20日で日程の予定をしていたが、とりあえず中止。

6月に入ってもまだ続く可能性もあるし、好転して状況が変わって行く段取りになるかもしれないが、今のところ状況が変わらない限り5月までは視察なしということをお願いします。白紙状態ということ。

この件について、委員から何かあるか。

(「なし」と言う声あり)

それではこの委員会で取り組む課題についてだが、委員の皆さんから何か意見はないか。何か今後の日程的なものを決めておかないといけない。先般各委員から出されたものに対して正副委員長で何か協議はされたのか。

三浦委員

していない。

西村委員長

芦谷副委員長

今日は牛尾委員も欠席だし、これはじっくりしなければならない問題なので、次の日程を決めてその時までにはしっかり資料を読み込んで討論、議論した方がスムーズに行くのではないか。

上野委員

何か、きっかけがないと、どれをだれのを選んで良いか分からない。

西村委員長

何か、ヒントが欲しいということか。

上野委員

前の福祉環境委員会の際は西村委員なのでみんなの考えもまとまり、すぐに決まったが。何かないと皆さんのも良いし。

西村委員長

あの時は私のが一番詳しかったからであって、それだけのことなのだが。皆さんが出された課題について、共通しているものもある。

西田委員

下間書記

教育関係というところで、西川委員、牛尾委員。まちづくり、市民参画というところで、西川委員、芦谷委員。地域の人材育成というところもこちらに入ると思うので、そうすると西田委員。

西田委員

私のも協働のまちづくりという、これからの取組に関わって人材育成ということなので。これは、去年の前のテーマとも同じなのだが。

三浦委員

後だしで恐縮だが、もし検討の余地があれば、幼児教育についてのテーマを追加したい。幼稚園の現状について、これからの統廃合問題、この

前の西村委員長などからもあったように、浜田市の幼児教育、幼稚園施策についての無策感を指摘していた。それに私も共感した。ここには西川委員や牛尾委員の小中学校をあげているが、教育は大きなテーマであるし、最近では幼児教育に対する様々な効果が他の市町でも検証されているということに基づいて、早期からの教育施策はいろいろなところで取り組まれ始めている。そういう他市、他地域の傾向がある中で、浜田市ではそういう現状がある。これから幼稚園の問題は公立幼稚園をどうするかということも考えていかねばならず、保育園ともつながっていく。そうしたところから言うと、教育の流れから小中からは外れるが、幼稚園、幼児教育というところで、少し一つテーマを加えていただけると嬉しい。

西川委員

私の小中一貫だが、美川のことで、美川は幼小中ということもあり、入れようかとも思っていた。モデル的なことで言うと、美川だったら幼小中が良い例になると思う。

三浦委員

今、美川の話が出たが、この前、朝のテレビで広島県の教育長が出ていて、教育のチョイスを強調していた。様々な子どもたちがいる中でどういいう教育を受けるかということが全然選択できないのは一つの社会の問題であると投げかけられていた。浜田市の中で教育のチョイスができるかということ、全くない。先ほど言われたように、美川の幼小中のあり方として検討するのは、一つの教育のチョイスという選択肢を増やすということでテーマにもつながると思う。また、浜田市の地域課題の一つの事象として捉え、その背景にある教育のあり方とは一体何なのかということを考えていけば、地域課題の解決にもつながる話だと思う。教育への投資、これまでの施策についても我々としても知識をつける意味でも学ぶ価値があるのではないかと思い、今話を聞いて、そういうことだったら、皆と一緒に共通の関心事として捉えられるかと感じた。

西村委員長

結局、私が思うのはテーマな何でも良いのだから、ただ、テーマを選ぶ時に、その選ぶポイントは、そのテーマに対してその人がどれだけの深い問題意識を持っているかが問題になってくるかと思っている。どれだけ深くやりたいのかということが。だから、そういう意味においては、それぞれが中身についてもう少し語っても良い気がする。

芦谷副委員長

この委員会がやるには、着地点が必要。市長への提言で留めるのか、予算化が必要なのか。条例化するのか。そういう最後をどうするのかということを中心に置きながら。あまり、テーマが広すぎると言って終わりということになるので。教育でも教育のどの部分というところを、少しテーマを絞る必要がある。この中で英知を結集して、テーマの方向性を出せば良い。

西村委員長

今、言ったような方向で、もう一度委員会をやってみようかと思う。もう少し、自分が出した課題について、掘り下げて皆さんを納得させる、なるほどおもしろいというなど思わせるような、そういうものに仕上げる。それで、もう一度考えるということにする。

三浦委員

何か、資料を作った方が良いか。

西村委員長

それは、できればあった方が良い。

だから、このテーマでやってみたいというのではなく、こういう方向で、

議論を深めてみたいというようなことを。自分が暮らしていて、この点をこういうようにという感じで。

そういうことを深めて、視察に行くとおもしろい。

では、次回委員会の開催についての日程調整をします。

《委員間で日程調整》

では、4月6日（月）の13時30分からで良いか。

（「はい」という声あり）

明日でも牛尾委員の都合を聞いてもらい、4月6日（月）か7日（火）の13時30分からということにする。

では、明日、牛尾委員に聞いて、開催についてメールすることとする。

それでは、自分が出した課題について深堀をするということで、よろしくをお願いします。

下間書記  
西村委員長

## 2. その他

西村委員長

他にないか。

（「なし」という声あり）

以上で総務文教委員会を終了する。

[ 17 時 05 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員長 西村 健 ㊟